



「あたりまえのことをあたりまえに！」とは？

その3 考える・想像する・相談する 校長 神原 由香里

今回は、5月の講話朝会で子どもたちに話した内容を紹介します。

「あたりまえのことを あたりまえにって何？」というタイトルで、今までよりもさらに「自分から」を意識しレベルアップするための3つのポイントについて話しました。まず、絵本「二番目の悪者」の読み聞かせから始めました。



林 木林/作 庄野ナホコ/絵

立派な金のたてがみをもつライオンがいました。次の王にふさわしいのは自分だ、と思っていたところに、別のライオンの噂が届きました。森に見に行くと、ホントに優しく親切な素敵銀のたてがみをもつライオンでした。不安になった金のライオンは、根も葉もない銀のライオンの嘘の噂を広め始めました。

嘘の噂のおかげで、金のライオンが王様にはなりましたが、国は荒れ果ていき、森の動物たちは「銀のライオンが王様だったらこうはならなかった」「なぜこんなことになってしまったのか？」となげきました。

お話をまとめると・・・

同じうわさを知ってるだけ

仲間に教えただけ

悪意はない

ちかよらないほうがいいかも

火のないところにけむりは立たない

ひよつとするとほんとうかも

かかわらないほうがよさそうだ

家族に知らせただけ

メールを転送しただけ

自分の目で何か一つでもたしかめたい・・・？

あたりまえのことを あたりまえに…って？

かんが
考える

やっていいこと？

そつぞつ
想像する

やってしまったら
このあとどうなる？

あいて

相手はどんな気持ちになる？

そつだん
相談する

どうすればいい？
→おとなに相談

まとめ

あたりまえのことを あたりまえに…って？

自分から

あいさつ

かんが
考える

そつぞつ
想像する

そつだん
相談する

じぶん、あいて、ひと
自分も相手(友だち)も
大切にすること

→命を大切にする

読み聞かせ後、「一番目の悪者は？」と聞くと、「金のライオン」という声が返ってきました。「じゃあ、二番目の悪者は？」と聞くと、色々な声が聞こえてきました。それぞれ、自分の目で事実を確かめずに嘘の噂を広めた動物たちの名前でした。

物事に対して「考える・想像する・相談する」ことは自分や相手（友だち）も大切にすることにつながり、それは、もっと大きく考えると、命を大切にすることとなり、それがあたりまえにできるようになってほしいと話しました。

毎日いろいろなニュースが飛び交い、栃木県の事件に相模原市の高校生が関わっていたことは、大きなショックとなったと思います。様々なニュースを紐解き、突き詰めていくと最終的には「命」に関することにつながっていくと感じています。

「自分の「命」を大事にできているか」

「周りの人（家族や友達）の「命」を大事に考えているか」

「なぜこんなことになってしまったのか」…それは、「やっていいことか**考える**」「これをやってしまったらどうなるのかと**想像する**」そして、「どうしてよいか分からなかった時に大人に**相談する**」ことができなかつたことで大きな事件になってしまったと思います。

若松小の子どもたちがそういった事件の加害者はもちろん、被害者にもならないために、教育の重要性を改めて感じています。子どもたち一人ひとりが、自分の命を大切に、そして友だちの命も大切にしながら輝かしい未来に向かっていけるように襟を正していきます。

朝会後には、学年に応じて次の内容を分かりやすくしぼって、振り返りを行いました。

- ①事件の被害者にも加害者にもならないことが大切・・・考えること・想像することが大切
- ②行動に責任をもつことが大切・・・個人情報や不確定な情報を流すだけでも犯罪
- ③分からないことはとにかく大人に相談・・・不安なこと・心配なことも含めて

4年生以上は、お話を受けて、次の内容で振り返りを書きました。その一部を紹介します。

二番目の悪者にならないために、自分からどんなことをしていこうと考えましたか？

二番目の悪者にならないためには、自分から本当かうそかわからない噂を広めないことをしていこうと考えました。「もしかしたら本当かも」と思っても、自分でたしかめていないのに、近づかなかつたり、避けるようになるとうその場合に相手が傷つくことになるから、しないようにしようと考えました。(5年)

自分の目で見ていない本当かどうか分からないことは、誰かに言ったりしない。今回の話でいうと、金のライオンが一番悪いと最初は思うけど、でも、銀のライオンの噂を広めた動物たちも悪いなと思った。(5年)

自分が見ていないのに、人から聞いたことを本当にしてしまうと、この物語のように、自分もライオンと同じ悪者になってしまうのではないかと思いました。(5年)

人からの情報が絶対に正しいわけじゃないから、自分でも調べる(5年)

噂がたって、本当かどうか確かめて、うそだったら、その人を支えたい。(4年)



うそをつかない。自分勝手にならない。相手の気持ちを考える。これからどうなるか想像する。わがままにならない。みんなでいい町にしていく。みんながよく笑う町にしていく。(4年)

何か友だちに変なこととか言われたら、すぐに信じないで相談したりして、それが本当かたしかめる。(4年)

同じ事を知っているだけで、色々なうわさをしたり、たしかめてないのに何も考えずに関わらないようにしたりして、二番目の悪者にならないようにしたいです。(4年)

※6/28(日)環境まつりに3・4年生が参加する件につきましては、この後実施する打ち合わせで詳細が分かり次第、出欠確認も含め連絡いたします。もうしばらくお待ちください。